



敬愛

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

コロナ禍での学習活動

校長 持田 晃

年末は、新規感染者の数は少ない状況でしたが、欧米での感染状況のように、国内での感染状況はこのところ、連日過去最多を更新という報道がされています。オミクロン株の感染力の強さに驚かされます。学校でも、これまで以上に留意していかなければならず、改めて手指のアルコール消毒や密になることのないように、学校での生活場面における注意すべき点を具体的に挙げ、皆で協力していくことを始業式で話しました。また、いつでも、だれでも感染してしまう可能性はあることで、そのことにより偏見や差別意識をもつことは、人として決して許されないことも話しました。

12月11日（土）の学校公開に続き、1月15日（土）の学校公開もSST授業（*ソーシャルスキル・トレーニング）を全学年に設定、学習成果の展示、午後は茶道教室の体験なども企画いたしました。公開ができずに大変残念に思います。下欄に当日の様子を一部ですが掲載いたします。また、中面には12月に実施しました学校評価アンケートの結果を掲載いたします。ご協力に感謝いたします。

*ソーシャルスキル・トレーニング

簡単に言うと、「ほかの人に対する振る舞い方やものの言い方」のことです。他者との関わり方を考える授業で、年間4回実施しています。



書初め



SST授業



茶道教室



学習展示



<1, 2年生の保護者の方へ> 多摩信用金庫の口座開設はお済でしょうか？

すでにお知らせしておりますが、来年度より教材費等の私費については、口座振替方式に変更させていただきます。多摩信用金庫に口座がない方は、口座開設をお願いします。

また、口座をすでにお持ちの方は、振替の手続きをお願いします。資料が必要な方は、担任まで。手続きについての詳細は、多摩信用金庫府中支店までお問い合わせください。

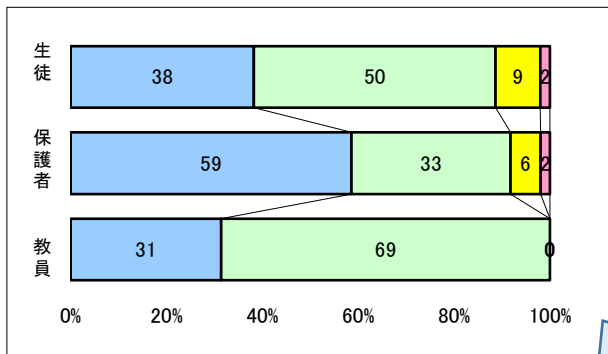


アンケート結果：7月と12月の比較（抜粋）

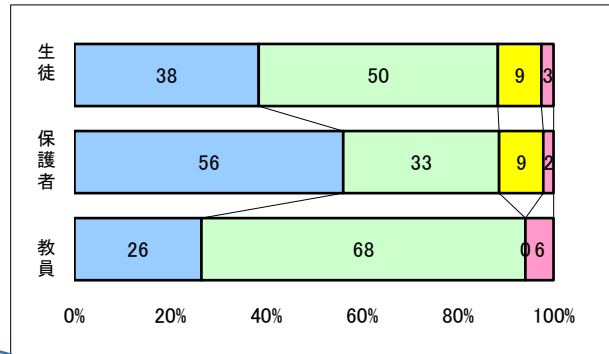
*生徒、保護者、教員の三者比較

【質問1】 正しい姿勢で座り、集中して授業を受けることができた。

<3年度 7月>



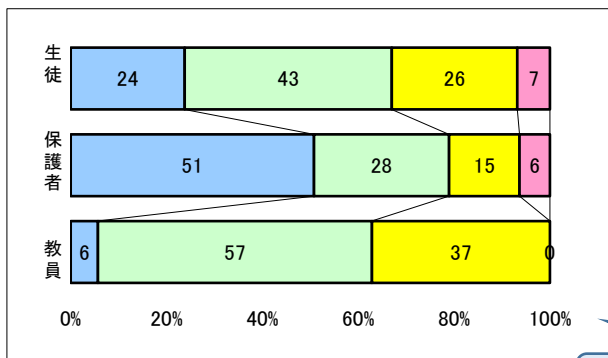
<3年度12月>



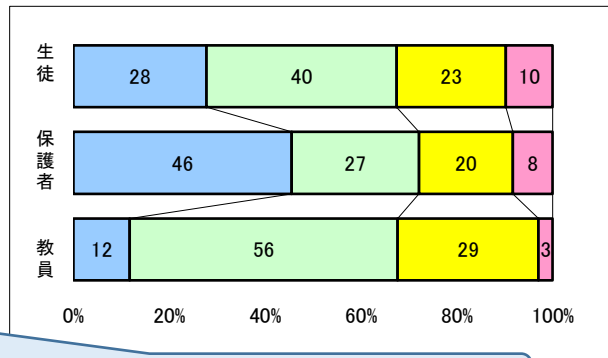
少し減少しました。正しい姿勢は集中力も増します。見直そう。

【質問2】 必要な教科書、ノート、資料集、提出課題などの忘れ物がなかった。

<3年度 7月>



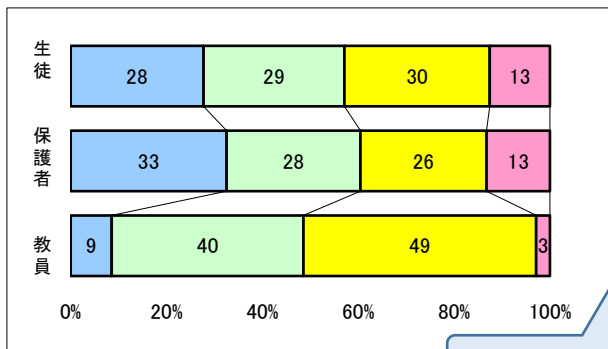
<3年度12月>



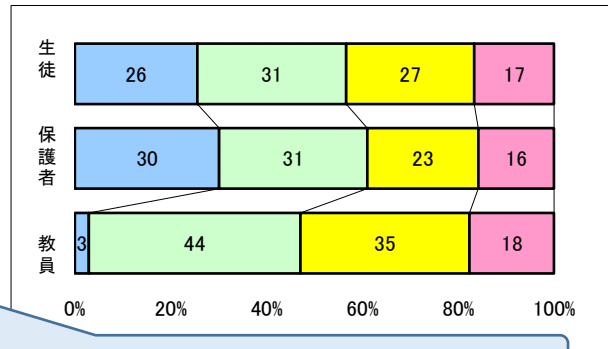
とらえ方に違いが。整理整頓で、効率UPを！

【質問5】 家庭学習に毎日取り組んでいる。

<3年度 7月>



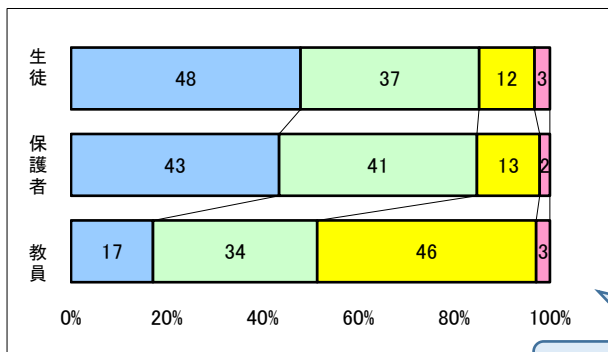
<3年度12月>



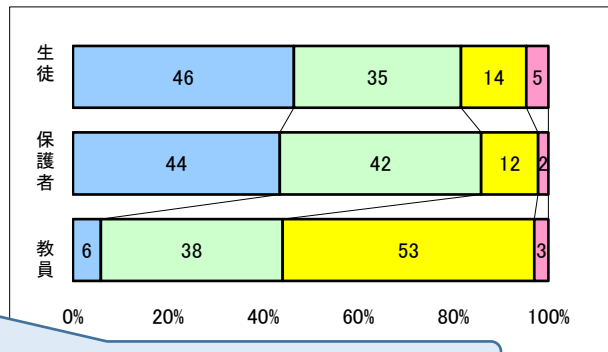
「当てはまらない」が増加！毎日、少しでも。継続することが大切です。

【質問13】 先生や来校者の方に、自らすすんであいさつすることができた。

<3年度 7月>



<3年度12月>



少し減少はコロナのせい？あいさつは基本中の基本です。

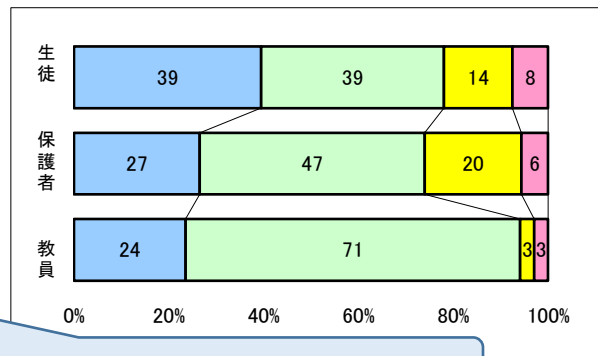
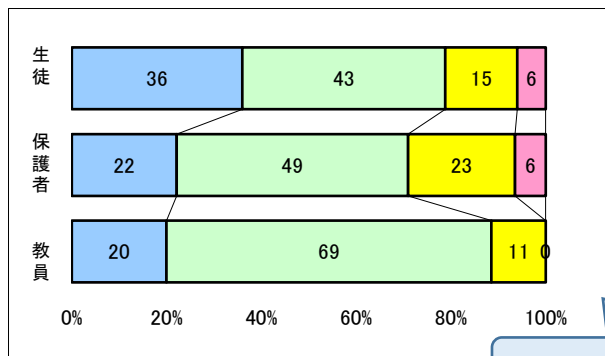
グラフの見方



【質問18】 学校は、あなたの悩みや相談に適切に応じてくれている。

<3年度 7月>

<3年度 12月>

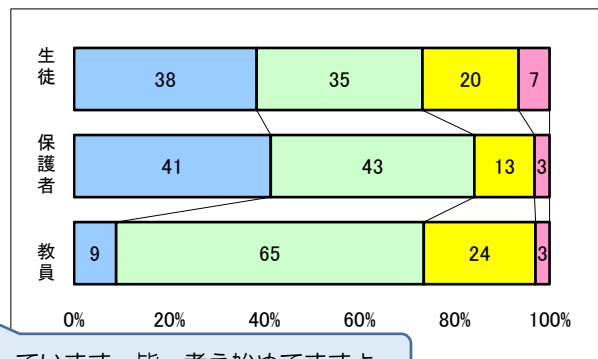
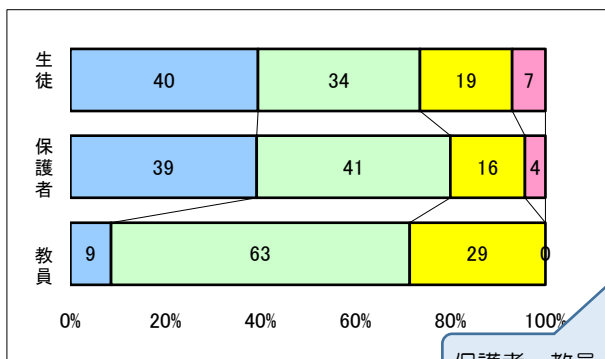


「そう思う」が増えています。2回三者面談もありました。

【質問21】 将来の生き方について考えている。

<3年度 7月>

<3年度 12月>

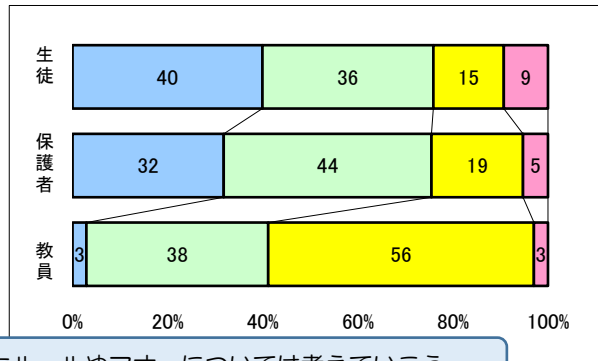
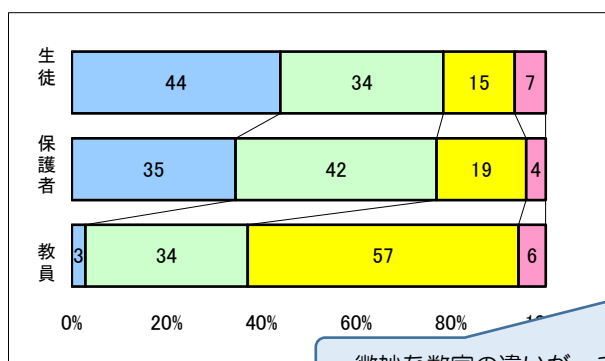


保護者、教員とも増加しています。皆、考え始めてますよ。

【質問23】 家庭で、保護者とスマホやパソコン、携帯電話などの安全な使用やルールをしっかりと話し合ってきている。

<3年度 7月>

<3年度 12月>

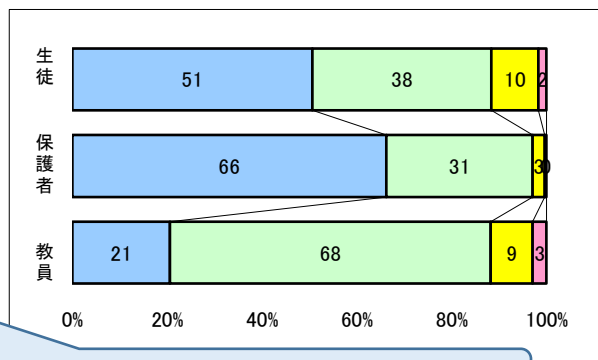
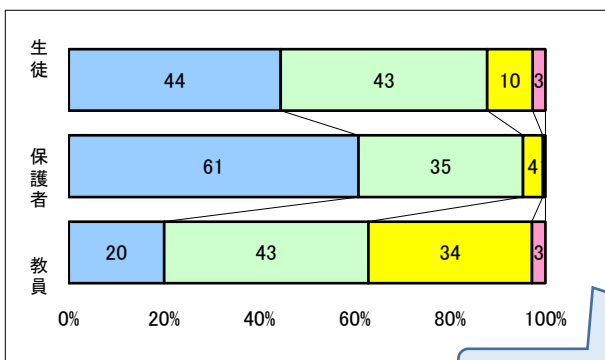


微妙な数字の違いが。これからルールやマナーについては考えていこう。

【質問26】 コロナウイルス感染拡大防止への意識をしっかりとって行動することができた。

<3年度 7月>

<3年度 12月>



生徒は意識しています。苦しい中、みなさんよくがんばっています。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO41

「休んだっていいさ、また前を向けるなら」

教諭 小宮山 知加

私は、体育教師になるまでに時間がかかり、何度も失敗と挫折を経験しました。あと一步で夢を掴めそうなところまでたどり着いても振り出しに戻り、また次の夏まで参考書や試験に合格することへのプレッシャーと向き合わなければならない日々が何年も続きました。

ある夏、再び一次試験に合格！が、喜んだのも束の間。「おじいちゃんが病院に運ばれた。」と親から電話がありました。動揺しながらも、急いで病室に向かいました。18歳から故郷を離れていたため、昔は厳格だった祖父が弱々しく小さくなった姿を見て驚きましたが、一次試験の結果を伝えると満面の笑みで喜んでくれたことに安心しました。しかし…。祖父はその二日後に亡くなりました。「今度こそ二次試験も合格します。おじいちゃんも元気でいてよ！また来るね！」そう伝えたのが最後でした。祖父が亡くなった悲しみ、何度も挫折や失敗をしてきていることへのプレッシャーと不安に押しつぶされそうでした。何をしてもうまくいかない。そんな時、阿部真央さんの「Believe in yourself」という歌に出会いました。「失敗したくない、とにかく頑張らなければ。休むことは許されない。」当時の私はそんな風に自分を追い詰めていましたが、この歌に勇気づけられ、「休んだっていいさ、また前を向けるなら。確かな一歩を踏みしめていこう」という歌詞が出てきた時、心がホッとした気がしました。

「また前に進むための原動力を取り戻すために、ときには肩の力を抜いて休む」ということの大切さに改めて気づかされました。悔いのないように、日々を全うすること。一生懸命に物事に取り組むことはとても大切です。ですが、自分の心身の状態を考えていくからこそ続けられるのだと思います。保健の授業でも話しますが、心と体は密接につながっています。心も体も壊れてしまえば、その先につながる気力や可能性を失ってしまうかもしれません。

皆さんもこれから様々な壁を乗り越えていく方法や心身の健康を保つための方法を見つけてみてください。

三中生の活躍

受賞おめでとうございます！

(敬称略)

ハンドボール部

「JOCジュニアオリンピックカップ（中学生選抜全国大会）」

「優勝」 <東京選抜> 3年 伊藤 舞奈

日本一に貢献しました!!



「第54回府中市交通安全作文コンクール」

「優秀賞」 1年 大谷 一華
1年 高島 涼

「高齢歩行者を守ろう」
「幸せムード漂う年末の裏の顔」

